

検査体制整備計画改定案（骨子）

東京都福祉保健局感染症対策部事業推進課

現行計画の概要（令和3年4月23日策定）

- ◆ 過去最大規模の新規感染者数の2倍、変異株対応、高齢者施設等での集中的検査等を含め、検査需要を緊急時最大※約7.9万人/日と見込み
- ◆ 医療機関・民間検査機関等の体制整備を進め、緊急時最大※約9.7万件/日の検査処理能力を確保
※緊急時最大…過去に経験したことのない感染状況下(過去最大の新規感染者数の2倍の規模)を想定

取組成果と課題

<取組成果>

- ◆ 有症状者等、検査が必要な方が、身近な地域で検査を受けられる体制を整備（診療・検査医療機関の確保等 令和3年9月末 約4,400か所）
- ◆ 緊急時最大の感染状況に備え、民間検査機関にヒアリングを実施し、緊急時の協力依頼
- ◆ 高齢者施設等での集中的・定期的検査やモニタリング検査など、戦略的な検査により、陽性者の早期に発見し、感染拡大防止に寄与

<第5波に顕在化した課題>

- ◆ 7月下旬からの感染急拡大に対し**検査が迅速に実施できない状況**が生じた可能性
- ◆ 診療科や地域により、**医療機関にアクセスしづらい状況**（当時医療機関名は非公表のため、発熱相談センターへの電話集中等）が生じた可能性
- ◆ **お盆期間や連休時**など、診療・検査医療機関等の稼働減少時に、**検査が受けづらい状況**が生じた可能性

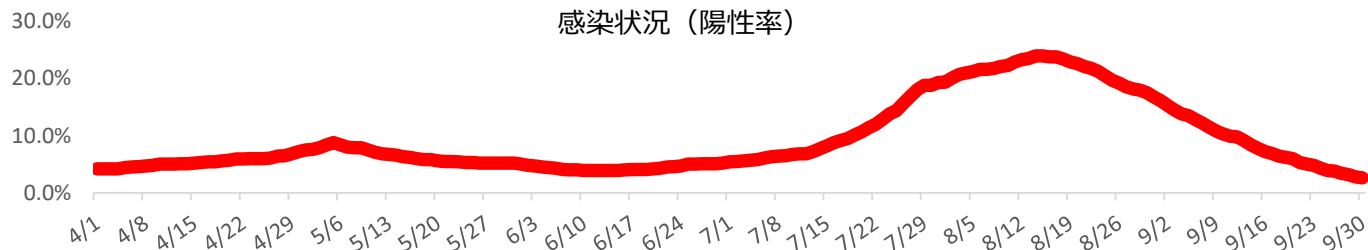
上記の課題を踏まえて、新たな計画には、以下の観点も盛り込み策定

- ◆ 災害時と同様に、感染急拡大時での迅速・機動的な体制拡充を想定した備え
- ◆ 都民への情報提供等の充実等検査が迅速かつスムーズな受検のための環境整備
- ◆ PCRセンターの役割分担・活用も含めた年末年始・連休等の体制確保

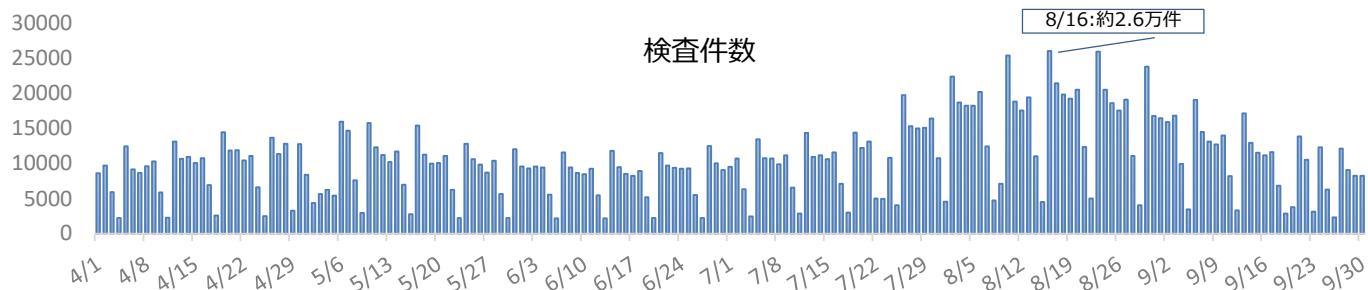
【参考】 現行計画の実績

行政検査

感染状況（陽性率）



検査件数



東京都新型コロナウイルス感染症対策サイトでの公表資料（R3.10.16）を基に作成

◆ 4月下旬から5月のGW明けまでにかけて、感染が拡大。その後、感染が減少に転じたが、第5波の7月下旬から8月までにかけて感染が急拡大

◆ 第5波の感染拡大時には、新規陽性者数も検査件数も過去最大を記録

高齢者施設等集中的・定期的検査

(対象施設数)	区分	検査方法	検査実績累計（令和3年4月～9月）		
			実施施設数	検査件数	陽性件数
高齢者施設 (2,335施設)	特別養護老人ホーム、 介護老人保健施設、養護 老人ホーム 等	PCR	18,644施設	1,009,234件	330件
障害者施設等 (968施設)	障害者支援施設、障害 児入所施設、共同生活援 助、救護施設	PCR	11,408施設	317,875件	117件
医療機関 (296施設)	療養病床を有する病院、 精神科病院	抗原定性 キット	1,599施設	185,813件	32件
合 計			31,651施設	1,512,922件	479件

モニタリング検査

検査実施場 所	検査実績累計（令和3年4月～9月）	
	検査実施件数	陽性件数
繁華街・ 飲食店・大 学・駅前・ 空港等	391,002件	1,028件

見直し後の整備計画概要

【基本的な考え方】

過去最大規模の新規感染者数の発生や、インフルエンザの流行を想定して見込んだ検査需要に対応できるよう、10月以降の検査体制の整備を図る。

1 検査需要

- ▷ 基本の検査需要を、8月感染ピーク（8/13～8/19）週の新規陽性者数（7日間平均）4,774人をベースに算出
- ▷ コロナ流行前後のインフルエンザ患者数の割合等から、発熱患者の3割程度をインフルエンザによる検査需要と見込み、需要に上乘せ
- ▷ 感染拡大を想定した需要の上振れも想定して需要を設定
- ▷ 行政検査以外の高齢者等施設への定期的検査や、モニタリング検査、保育所・学校での感染発生時のPCR検査も需要として見込む。

【最大】約10.2万件/日（行政検査 約7.6万件/日 行政検査以外 約2.6万件/日）

2 検査体制

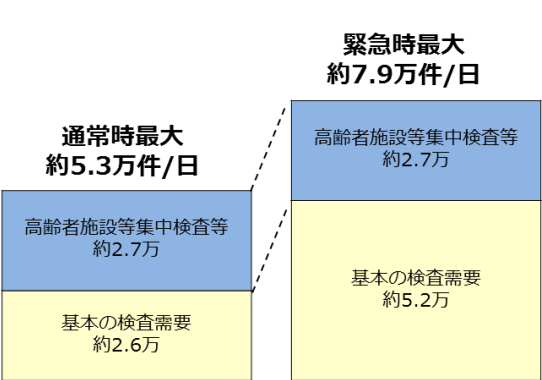
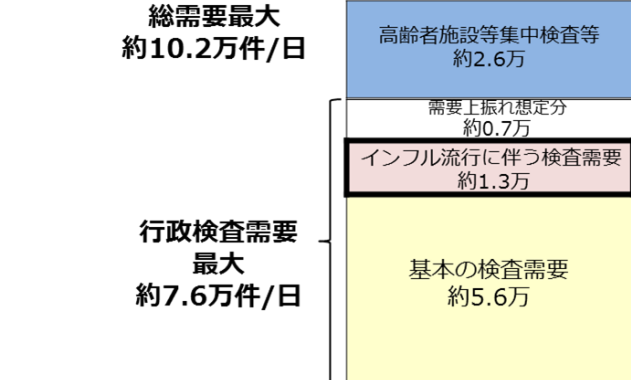
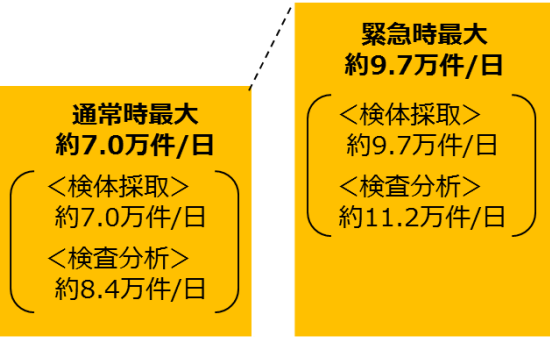
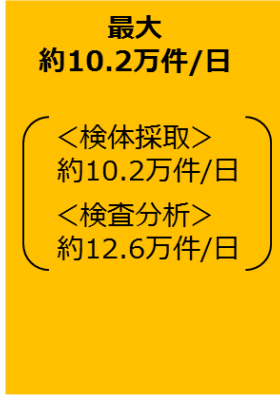
診療・検査医療機関の確保・公表や、PCRセンターの活用促進等により、検査需要に対応

検査処理能力 最大約10.2万件/日（検体採取 約10.2万件/日 検査分析 約12.6万件/日）

3 感染拡大に備えた検査体制確保

- ▷ 陽性率の上昇等の感染動向を速やかにキャッチして、診療・検査医療機関やPCRセンター等に対して、検査枠の増設等の準備を事前に要請
- ▷ 検査情報サイトの情報充実、発熱外来マップの利用促進等による都民等への情報提供を充実
- ▷ 医療機関の輪番制、PCRセンターの活用等により、地域全体で年末年始や連休時の検査体制を確保

【参考】計画見直しによる主な変更点

	現行計画（令和3年4月）	見直し後（令和3年10月）
考え方	<p>▷過去最大規模の新規感染者が生じた場合（通常時最大）令和3年1月の過去最大新規陽性者数（2,520人）</p> <p>▷過去に経験したことのない感染状況下（緊急時最大）（過去最大の新規陽性者数の2倍（5,040人）を想定）に対応するための検査体制を整備</p>	<p>▷過去最大規模の新規感染者が生じた場合（8月感染ピーク週の新規陽性者数：平均4,774人を想定）</p> <p>▷インフルエンザ流行を想定した検査需要に対応するための検査体制を整備</p>
検査需要	 <p>通常時最大 約5.3万件/日</p> <p>緊急時最大 約7.9万件/日</p> <p>高齢者施設等集中検査等 約2.7万</p> <p>基本の検査需要 約2.6万</p>	 <p>総需要最大 約10.2万件/日</p> <p>高齢者施設等集中検査等 約2.6万</p> <p>需要上振れ想定分 約0.7万</p> <p>インフル流行に伴う検査需要 約1.3万</p> <p>行政検査需要 最大 約7.6万件/日</p> <p>基本の検査需要 約5.6万</p>
検査体制	 <p>通常時最大 約7.0万件/日</p> <p>緊急時最大 約9.7万件/日</p> <p>＜検体採取＞ 約7.0万件/日</p> <p>＜検査分析＞ 約8.4万件/日</p>	 <p>最大 約10.2万件/日</p> <p>＜検体採取＞ 約10.2万件/日</p> <p>＜検査分析＞ 約12.6万件/日</p>
需要への対応能力	検査需要：約7.9万件/日 < 検査能力：約9.7万件/日	検査需要：約10.2万件/日 = 検査能力：約10.2万件/日

今後の検査需要の算定

都のピーク時の検査需要は、以下(1)及び(2)を合算し、約10.2万/日と算定

(1) 行政検査 約7.6万件/日「①から③までの合算」

① 基本の検査需要 = 約5.6万件/日

- ・ 8月感染ピーク時の新規陽性者数(7日間平均) 4,774件(令和3年8月19日「新規陽性者数は自費検査分を含む」)
- ・ 1日当たり 4,774件 × 7日 ÷ 6日(週あたりの診療日数6日) = 5,570件
- ・ 陽性率を10%に維持するものとして割り戻し ⇒ 5,570件 ÷ 10% = 55,700件

② インフルエンザの流行に伴う発熱患者等の検査需要 = 約1.3万件/日

- ・ ピーク時1週間の検査数 2,549,813件(直近5年間の平均のインフル検査数) × 1割(ピーク時1週間の検査数に相当) = 254,981件
 - ・ 1日当たり 254,981件 ÷ 6日(週あたりの診療日数6日) = 約42,500件
 - ・ インフルエンザの検査需要 42,500件 × 3割程度※ = 約12,800件
- ※ コロナ発生以前のインフルエンザの患者数の対比から3割程度と見込む
(令和2年全国インフルエンザの患者報告数「定点報告」の過去4年間平均に対する前年の割合により算出)
平成28年~31年 563,487人(令和2年) ÷ 1,785,498人(過去4年平均) = 0.3(3割程度)

③ 検査需要の変動(上ぶれ)を想定した検査需要「①及び②の1割」 = 約0.7万件/日

①基本の検査需要 (疑い患者・濃厚接触者・発熱患者等) 55,700件	②インフルエンザ患者の検査需要 12,800件	③検査需要の変動(上ぶれ) 6,850件
---	----------------------------	-------------------------

(2) 行政検査以外 約2.6万件/日

高齢者施設等の検査需要「以下①から⑥までの合算」

過去最大の実績や新規事業等の規模から1日あたりの件数を算出。

無症状者に対するスクリーニング検査※					感染者が発生した場合に、必要な検査を実施※
①高齢者施設 9,200件	②医療機関 1,700件	③障害者施設 2,900件	④モニタリング検査 4,400件	⑤区市町村共同事業等 880件	⑥保育所・学校 7,200件

※ 陽性の結果が出た場合には、医療機関において診断(行政検査)

検体採取体制について

① 最大稼働時における検体採取能力

- 約10.2万件/日

【都における検体採取の状況】

(単位：件/日)

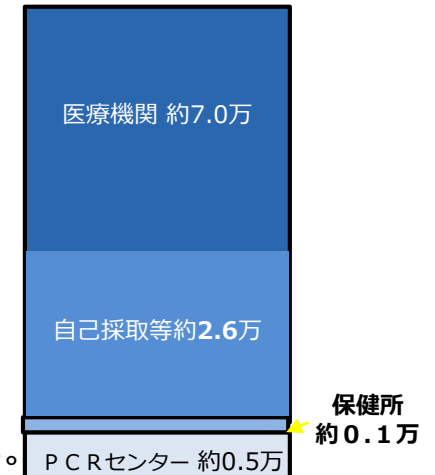
診療・検査医療機関等	PCRセンター	保健所	その他 (自己採取等)	合計
約7.0万	約0.5万	約0.1万	約2.6万	約10.2万

※ 診療時間・診療日の延長、ブースの拡大等により、人員体制・稼働体制を感染ピーク時の短期間に最大限まで稼働した場合の検査数を想定

- 最大時の検査需要(約10.2万件/日) に対し、最大時の検体採取(約10.2万件/日) 【ピーク時約10.2万/日の内訳】であり、検査需要を満たしている。

② 最大時（ピーク）に向けた対応

検体採取後の検査分析能力を最大限活かすため、都医師会等との連携により、検査を実施する医療機関の拡充(診療・検査医療機関の指定・公表、人員体制・稼働体制の強化)やオンライン診療の有効活用などにより検体採取能力を向上させるとともに、濃厚接触者等への検査実施に当たり、PCRセンターや民間検査機関等の有効活用を図る。



検査（分析）体制について

① 最大稼働時における検査分析能力

- 約12.6万件/日

【都におけるPCR検査・抗原定量検査・抗原定性検査の状況】

（単位：件/日）

都健安研・保健所等	民間検査機関	診療・検査医療機関等	合計
約0.4万	約6.9万	約5.3万	約12.6万

※ 検査時間・検査日の延長、検査方法の選択等により、人員体制・稼働体制を感染ピーク時の短期間に最大限まで稼働した場合の検査数を想定

- 最大時の検査需要(約10.2万件/日) に対して、最大時の検査分析(約12.6万件/日)であり、検査需要を満たす検査（分析）能力を有している。

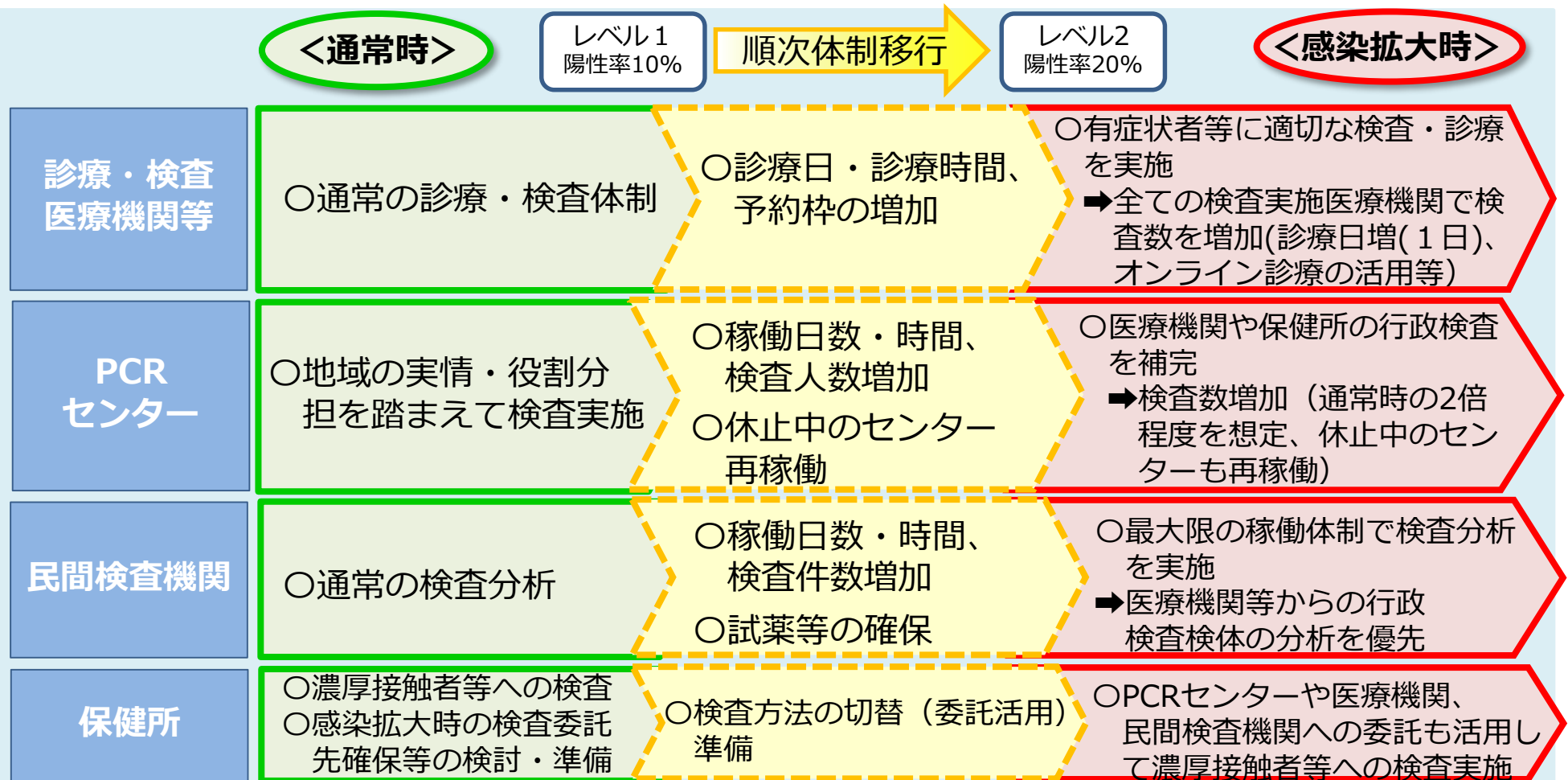
② 最大時（ピーク）に向けた対応

それぞれの検査の特性を踏まえ、検査方法の適切な組合せにより、引き続き、迅速で効率的な検査体制を確保する。

また、インフルエンザとの同時流行を想定し、医療機関においてはインフルエンザ・新型コロナウイルス同時検出可能な抗原検査キットの活用を促進する。

感染急拡大への対応

- ◆ 陽性率等のモニタリング項目やモニタリング検査結果を有効活用し、感染動向を速やかにキャッチ。感染急拡大期においても、迅速な検査が受けられる体制を構築
- ◆ 都は、診療・検査医療機関、PCRセンター等に対し、検査体制強化の準備を要請
- ◆ 強化後の体制で、各機関が最大限稼働し、検査を拡充。
保健所は、PCRセンターや医療機関等への委託も活用し、濃厚接触者等の検査を実施



都民等への情報提供の取組

【発熱外来マップ】

- ◆ 発熱等の症状のある方等がスムーズに相談、受診ができるよう、公表の同意を得た診療・検査医療機関を公開（R3年9月）
- ◆ 所在地をマッピングし、対応時間や検査の種類等を掲載（R3年10月）

<URL>

<https://app.powerbi.com/view?r=eyJrIjoiNjFkNDlmOTctMGJlNy00ODJiLW11YTItODc2MGRjZDRkMDE1IiwidCI6ImQwMzAyZmNjLTNlODEtNDljMy04MjM1LWQzMTFhMzY4NGNmYyJ9>

※Internet Explorer以外のブラウザで御覧ください。

①検索機能より条件を入力

検索機能(条件入力)又は絞り込み機能(項目チェック)により検索

①区市町村を選択
↓
対象者を選択

②該当する診療・検査医療機関を地図で表示

所在地をマッピング

【表示される情報】医療機関名、住所、電話番号、小児及び妊婦の診療の可否、曜日別受付時間、祝日対応、外国語対応

医療機関名	住所	電話番号	小児	妊婦	PCR	抗原定量	抗原定性	抗体-陽性	抗体-陰性	抗体-不明	抗体-その他	月AM	月PM	火AM	火PM
ねぞし内科診療所	新宿区四谷三丁目九番地	03-5369-2041	○	○	○	○	○	○	○	○	○		13:30~18:30		